

ハーモニーの森便り (第45号)



(H28.1.10)

書 初 め

↓足を使い、“必ず”という言葉を書きました！



新春カラオケのど自慢



『すきま風』熱唱されました！→



←新年一曲目は『きよしのズンドコ節』を熱唱されました！



< 社 会 福 祉 法 人 ハ ー モ ニ ー >

障がい者支援施設ハーモニーの森

〒879-7761 大分市大字中戸次6042番地

T E L : 097-597-8818 / F A X : 097-597-8838

～ 新年のご挨拶 ～

新年明けましておめでとうございます。

今年一年が皆様にとって良き年になるよう心からお祈り申し上げます。

昨年、世界はテロに始まりテロに終わった年でした。事の本質は宗教上の争いではなく、格差と貧困が若者中心に世界に拡大しつつあるということではないでしょうか？日本も一億総中流という社会が壊れ、若者中心に貧困と格差が広がしつつあるというのが今の時代ではないのでしょうか。

ただ、日本の社会は職業を選ばなければまだ働くところはありますし、店には多くの食料と品物があふれ、飢えて死ぬといったことにはなりません。

日本の国民的作家、夏目漱石の作品に「坊ちゃん」という小説があります。坊ちゃんの母親が重病で床にふしている時、その前で大でんぐり返しをやるという事件がありました。父親は大変怒って息子を勘当すると言い出しました。すると、下女の清が坊ちゃんは将来大臣か博士になる人だからどうか許して下さいと泣きながら詫び、ようやく親父の怒りがとけた事件がありました。この無鉄砲の坊ちゃんを何とかかばうのです。

日本の現代の貧困や格差の根本にあるのは、人間関係の希薄さ、関係性の貧困にあるのではないのでしょうか。私たちのまわりにこの「清」みたいな存在が居れば、まだ私たちの社会に希望や夢を持っていけないのではないかと私は考えます。

今年も社会福祉法人 ハーモニーをよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人ハーモニー
理事長 室 寛志



～第3回大分県障がい者卓球バレー交流大会～

『大分県障がい者卓球バレー交流大会』は、平成25年に大分県のぞみ園とハーモニーの森とで施設間交流の促進を目的に始めた大会です。昨年より日田市のひばり～ヒルズも参加されるようになり、大会規模も少しずつ拡大してきました。

今年も施設混合での昼食会や各施設の利用者様混合での試合を企画し、大会を通して大いに交流を深めることができました。



～ 大分県立美術館（OPAM） ～

11月23日～27日の5日間に、昨年4月にオープンした『大分県立美術館（OPAM）』へ外出してきました。

館内はユニークなデザインの構造になっており、皆さんからも「お～すごいなあ」等、作品や雰囲気を楽しんでいる様子が見られました。

限られた時間の中ではありましたが、芸術鑑賞の癒しと気分転換が味わえたのではないのでしょうか。



～ Happy Birthday ～



佐々木憲治様は担当職員と一緒に『わさだタウン』に行きました。

買い物では洋服等を買ひ、昼食は焼肉を食べ、久しぶりの外出を笑顔で楽しみました。

佐藤静子様はご家族、担当職員と一緒に『パークプレイス』に行きました。

久しぶりのご家族の方との外出で、食事や買い物・ペットショップで動物を観賞されたり等、とても楽しいひとときを過ごす事ができました。



竹下郁夫様は担当職員と一緒に津久見市にある『浜茶屋』というお店で食事をしました。

元気な頃によく訪れていたということで、食事をしながら、昔のことを思い出されていました。

松本育子様はご家族、担当職員と一緒に『パークプレイス』へ行きました。

誕生日外出が決まった日から当日までずっと楽しみにされており、当日は朝からワクワクされていました。

パークプレイスでは犬に触れ合い、満面の笑みで餌をあげていました。昼食はカレーライスを食べ、買い物では衣類やプレゼントを買いました。



掲載事情により、今回は載せることができませんでした。

*小田吉弘様は、担当職員と一緒に『ドン・キホーテ』に行きました。

*秦喜宮典様は、担当職員と一緒に『わさだタウン』に行きました。

*沓掛久美子様は、ご家族・担当職員と一緒に『パークプレイス』に行きました。

*井上栄子様は、担当職員と一緒に『わさだタウン』に行きました。

～ 第5回ふれあい祭り ～



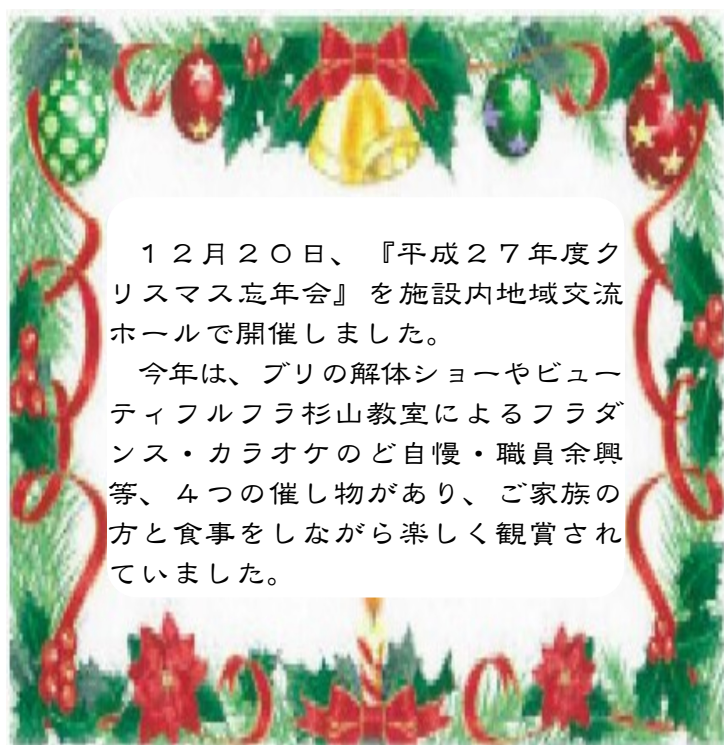
10月18日、『第5回ふれあい祭り』を施設駐車場にて開催しました。

今年度よりステージの位置や客席の配置を変え、秋なのに夏みたいな天候の中、盛大に行なわれました。

当日は日舞や系口太鼓・神楽・ソーラン節・抽選会等、5つの催し物があり、参加者・来場者の皆様は食事をしながら楽しく観賞されていきました。



～ 平成27年度クリスマス忘年会 ～



12月20日、『平成27年度クリスマス忘年会』を施設内地域交流ホールで開催しました。

今年は、ブリの解体ショーやビューティフルフラ杉山教室によるフラダンス・カラオケのど自慢・職員余興等、4つの催し物があり、ご家族の方と食事をしながら楽しく観賞されていきました。



～ 新 入 所 者 紹 介 ～



7月27日より入所された、藤澤敬子様です。
趣味は、新聞を読むこととカラオケです。だんだんとハーモニーでの生活に慣れてきたようです。これからも楽しく生活ができるよう支援していきたいと思います。よろしくお願いします。

～ 新 人 職 員 紹 介 ～



[氏名] 田尻康樹 (タジリコウキ)

[趣味] 映画観賞

[特技] 体を動かす事

[氏名] 梅木祐太郎 (ウメキユウタロウ)

[趣味] 映画観賞

[特技] 野球



[氏名] 谷 渚 (タニナギサ)

[趣味] ドライブ

[特技] 掃除

[氏名] 竹尾学乃 (タケオタカノリ)

[趣味] サバイバルゲーム

[特技] ヨーヨー



～ ケアホーム『焼肉交流会』 ～



地域住民の皆様へお声掛けをし、『焼肉交流会』を行いました。

今まで入居者の方々は挨拶を交わす程度でしたが、実際に同じ時間を過ごす事により、自分たちから話し掛ける場面も見られ“地域で暮らす”という事を体感する事が出来たのではないかと思います。

来年以降もこのような交流の場を設けることにより、地域住民の皆様とのより強い関わりが持てるよう橋渡しをしていきたいと思いをします。

～ まめ知識 ～

『 どうして静電気は冬に起こるの？ 』

ドアノブに触った時、バチバチッとくる季節になりました。なぜ、冬は静電気が多いのでしょうか？

理由のひとつは「重ね着」です。寒い冬は服を重ねて着ますから、服どうしの摩擦で静電気が起きやすくなります。フリース（ポリエステル）とウールのニットは静電気を発生しやすく、綿や麻は帯電しにくいそうです。

もうひとつは「空気が乾燥していること」。空気が湿っていると、静電気は空気中に逃げていきます。冬は空気が乾燥して、空気中の水分が少なくなります。静電気は逃げ場がないので、身体に溜まって、なにかの拍子にバチッと放電するわけです。

服の摩擦を防ぐためには、①洗濯の時に柔軟剤を入れる、②静電気防止のスプレーを使う、といった方法が効果的です。

また、加湿器などを利用して、部屋の湿度を50%以上にするといいですね。

ハーモニーの森でも、加湿器を利用し静電気対策はもちろん感染症対策もしっかり行なっていききたいと思いをします。

～ 社会福祉法人としての取り組み ～



社会福祉法人には、地域社会において生活していくために必要なサービスを受けることができない人がないように、多様な関係機関と連携しつつ、地域における様々なニーズに応えていくことが求められています。

このニーズに応えるため、平成27年度からおおいた“くらしサポート”事業が開始されました。この事業は、県内の社会福祉法人施設で構成する「大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」が中心に実施しています。当施設も大分地域の機関施設として参画しており、事業の一翼を担っています。

福祉のことだけでなく、生活をする上で困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。担当者が丁寧にお答えいたします。

＜ 受付担当 ＞

相談支援専門員
大嶋 宏
衛藤 渚